

第11回 テーマ

年度を跨ぐ際の組織的・計画的な検証・改善

「学校の教育目標」の設定・実現のために、「カリキュラム・マネジメントの3側面」と「家庭・地域の意向を踏まえた」計画性が必要です。

「カリキュラム・マネジメントの3つの側面」で教育課程を再編成

(0) 自校の課題の洗い出し

・全教職員で子どもの実態を「9つのマトリクス」等で具体的に整理し、課題を共有し、解決に向けた「育成を目指す資質・能力」を焦点化して設定

(1) 教科横断的な視点

- ①「学校評価の4点セット」の重点目標等を設定
- ②「生活科・総合的な学習の時間」を「涵養」に位置付けカリマネ推進

(2) PDCAによる評価と改善

- ①学校経営案と学級経営案の連動（別添資料P5）
- ②「育成を目指す資質・能力」を中学校ブロックで共有

(3) 人的又は物的な体制

- ①観点Ⅳ「学校・家庭・地域の目標協働達成」を4点セット（育成を目指す資質・能力）で推進

学校評価	カリキュラム・マネジメント	学校経営案	学級経営案	生活科・総合的な学習の時間	学校・家庭・地域の目標協働達成

○全職員の参画と合意形成
⇒目標の一致と明確化

- ①「育成を目指す資質・能力」を「習得・育成・涵養」の視点で具体的に設定
- ②各学年の「探究課題」に係る「各教科内容」や「資質・能力」との関連を確認

「育成を目指す資質・能力」を「教育課程に編成」

- ①個々（担任・教科・養教・事務等）が参画し「学校のパフォーマンスの最大化」
- ②9年間を見通した児童・生徒の育成を意識した小中連携の促進

効果的・効率的なチーム体制の構築

- ①子どもの「資質・能力」に焦点化し、「学校の応援団」から「実践的に参画」していく意識転換

「育成を目指す資質・能力」を中心とした『熟議』

予定

1～2月

2～3月

4～3月

1～2月

2～3月

来年度「学校の教育目標」の設定スケジュール

	1 月			2 月			3 月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
学校		・今年度「学校の教育目標」 （学校評価の4点セット）の 総括 ・来年度「学校の教育目標」 （学校評価の4点セット） 【一次案】作成		学校運営協議会等で、来年度の 「学校の教育目標（案）」（学校評価 の4点セット）の説明と各立場 （学校・家庭・地域）での主体的参画 に向けた協議を行う。			左記協議を基に、 「学校の教育目標（案）」 （学校評価の4点セット） をブラッシュ・アップ		来年度「学校の教育目標（案）」（学校 評価の4点セット）を決定し、 保護者・地域と共有
保護者							PTA等で学校の 最終案をもと に協議		
地域									

「学校」は1年間の実践から、児童・生徒の課題を洗い出し、課題解決に向けた次期「学校の教育目標」（学校評価の4点セット）の案を作成し、ブラッシュ・アップを行う。

「保護者・地域」は、学校からの説明を基に、4点セットの家庭・地域の「取組指標」が効果的に実施できるよう主体的に参画する。